

# 観光の光と影

---

20250131 ESD-J御中 オンラインセミナー

JARTA代表理事 高山傑



JARTA

# 講演内容

01

持続可能な観光とは

～定義の深読み～

02

地球市民の責務

～待ったなしの対応～

03

日本が日本である  
ために

～地域課題解決の一助に～

04

Green Claims  
Directive by EU

EU環境訴求指令案

05

観光認証の未来

より多くより早くが鍵

06

JARTA !

国際観光認証機関  
としての展望



01



# 持続可能な観光とは

---

～定義を深読み～



# 訪問客や業界、環境、受け入れ地域の ニーズに対応しつつ、現在および将来の 経済や社会、環境への影響を考慮した観光



「自然遺産や生物多様性を保全し、環境資源を最適な形で活用する」



「訪問客を受け入れる地域の文化遺産や伝統的な価値観を尊重・守り、異文化理解を促進する」



「訪問客を受け入れる地域の社会経済的な利益を分配し、生活環境向上に貢献する」

# “観光は目的ではなく 手段である”

持続可能な観光は、従来の観光業による環境汚染や生活環境破壊などの問題を避け、地域や住民の暮らしを向上させる取り組みです。





02

# 地球市民の責務

---

～待ったなしの対応～

8%

観光業による排出量

6倍

飛行機は鉄道の約6倍のCO2排出量

49% vs 6%

交通機関と宿泊施設のCO2排出量比較

161kg CO<sub>2</sub>e\*\*



-22% lower than average

Flight emissions estimates have appeared in over

65,000,000,000

searches worldwide.\*

\* Found on Amadeus, Booking.com, Expedia, Google, Sabre, Skyscanner, Travelport, Trip.com and Trip.Biz. Calculated between October 2021 through April 2024.

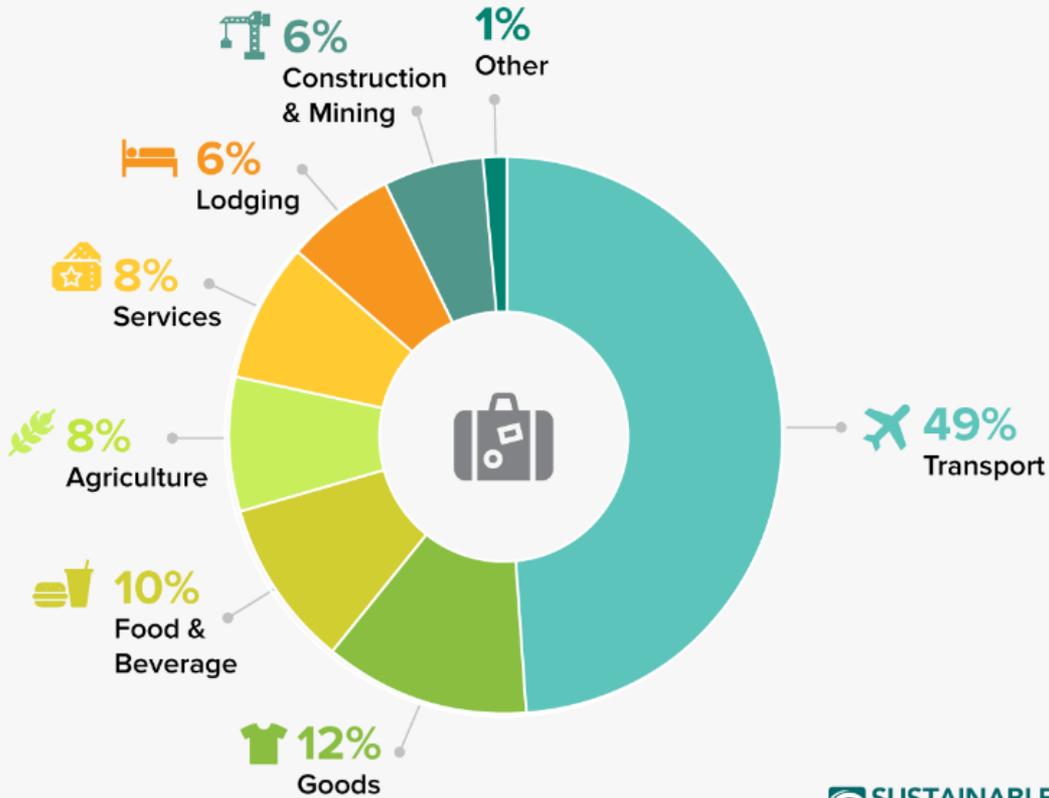
\*\* Display is for illustrative purposes, for more information on how estimates are calculated visit [travelimpactmodel.org](https://travelimpactmodel.org).



# J-クレジット制度



# Carbon Footprint of Global Tourism



 **SUSTAINABLE**  
TRAVEL INTERNATIONAL

*This graph shows the different activities that contribute to tourism's total carbon footprint.  
Data Source: [Nature Climate Change \(2018\)](#)*



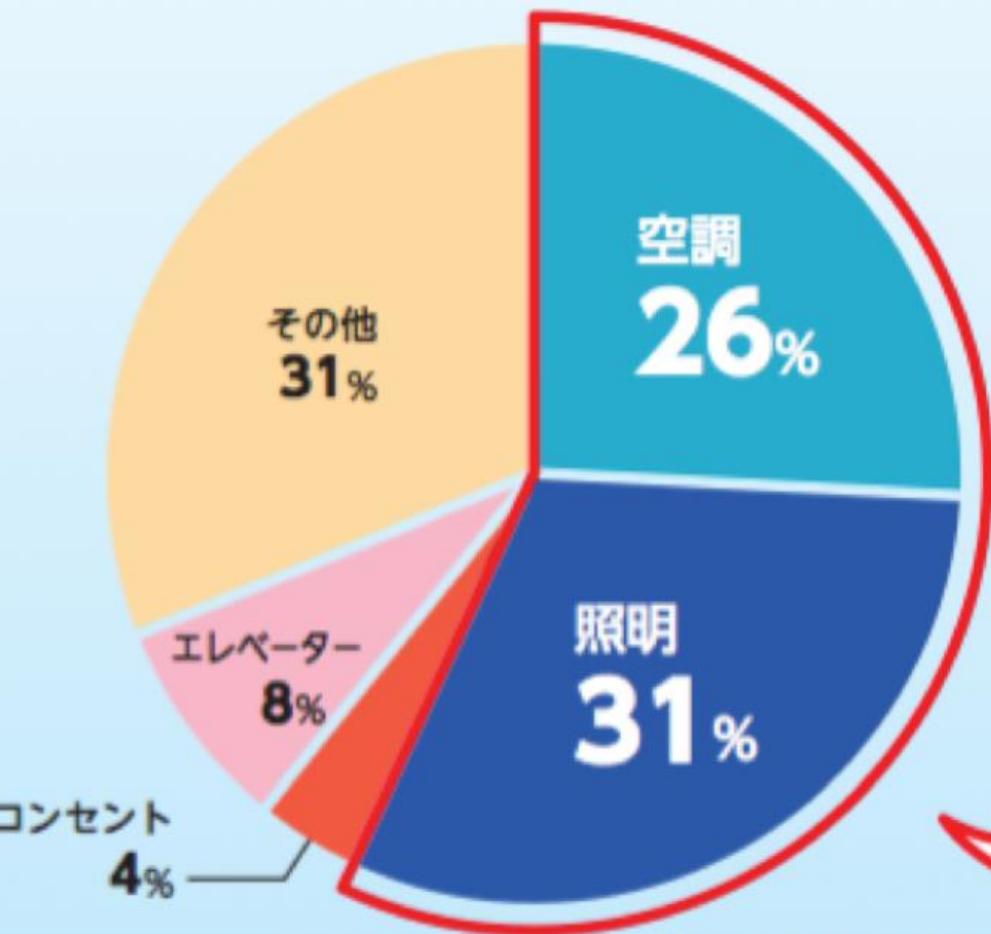
## 電力消費の内訳 (ピーク時:14時前後)

電力消費のうち、空調が約26%、照明が約31%を占めます。(左グラフの照明比率の構成としては、概ね、客室:客室以外=1:7となっています。)

これらを合わせると電力消費の約**57%**を占めるため、これらの分野における節電対策は特に効果的です。

空調、照明で

約**57%**



出典:資源エネルギー庁推計

平均的なホテル・旅館における用途別電力消費比率



畜産業によるCO2排出量は、世界の温室効果ガス排出量の約14～17%と推定されており、飛行機や自動車などの交通手段と匹敵するほどです。

## 肉食を減らす効果

- ヴィーガン食は温室効果ガスの排出を70%削減
- 水資源の利用を大幅に節約
- 森林伐採減少し、野生動物生息地を守る
- フードロス対策の徹底
- 牛から豚、鶏へのシフト

03

# 日本が日本であるために

～地域課題解決の一助に～

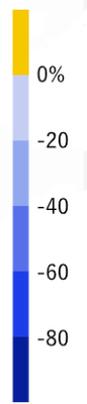


# 「消滅可能性自治体」マップ

地図で見る      リストで見る      ⓘ 概要

変化率      4分類

関連記事を表示



+  
-

100 km

04

## Green Claims Directive by EU

EU環境訴求指令案によるグリーンウォッシュ  
の規制の指令案（2023年3月22日）



## EU環境訴求指令案によるグリーンウォッシュの 規制の指令案（2023年3月22日）

1. 消費者は、第三者認証制度に準拠したラベルと、第三者による検証が実施されていない「自主認証」に基づくラベルとの区別を認識していない
2. 消費者への持続可能性情報提供に関する要件の整備やEU市場における公平な競争環境の実現を目指す
3. 企業は、環境訴求に関して、信頼性・信憑性や科学的な裏付けのある情報の提供を求められるようになる
4. 環境ラベルも規制が厳格化される





05

持続可能な観光認証の未来

～より多くより早くが鍵～



# Sustainability certifications, standards and schemes



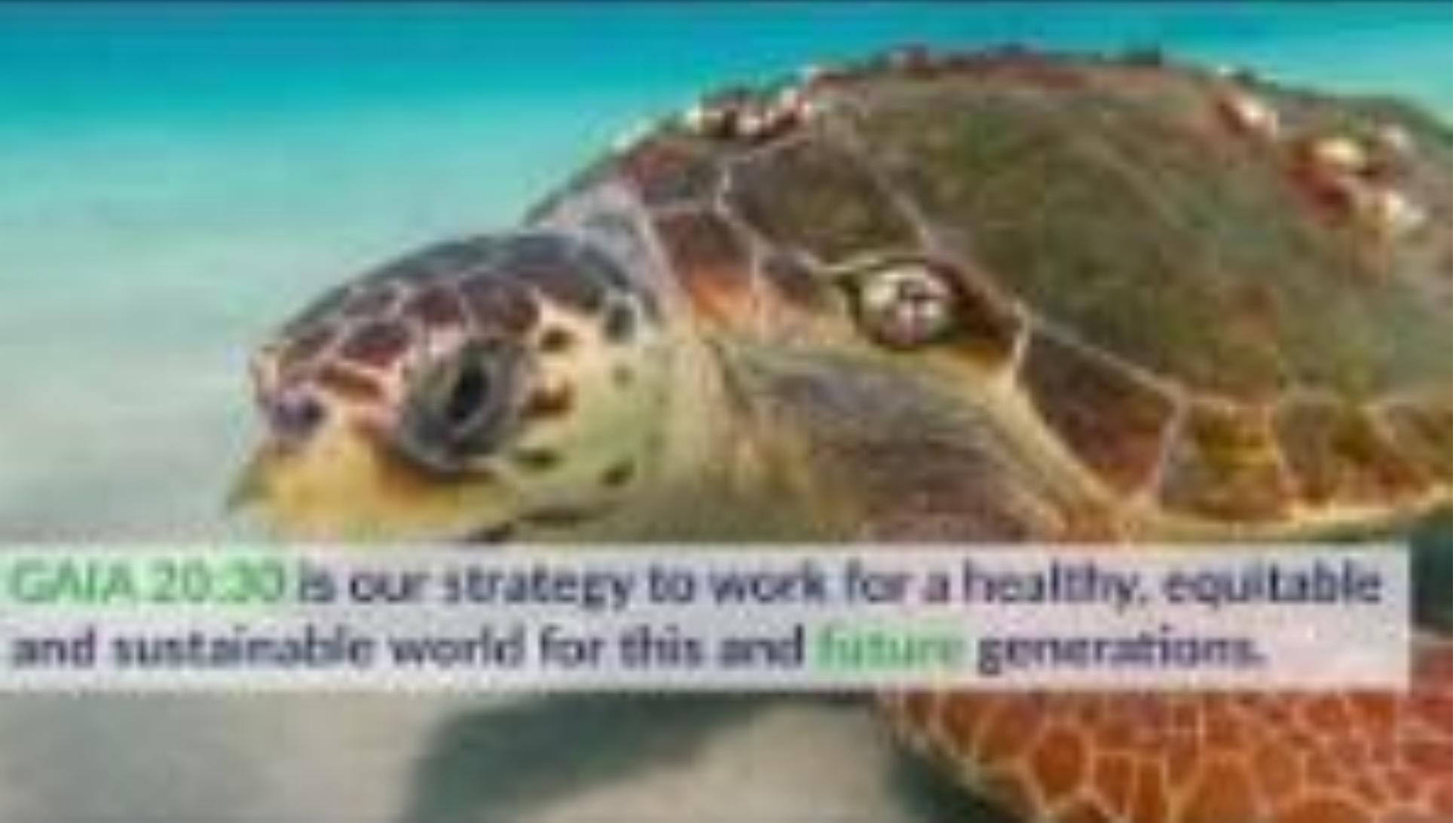
We believe that now is the time to:

- 1 Protect wildlife
- 2 Preserve the environment
- 3 Grow tourism responsibly
- 4 Reduce emissions

Who we are  
What we do  
Why we do it  
How you can help

By expanding travel's economic benefits, alleviating overcrowding and filtering tourism through to less-visited areas, we believe that travel's exponential growth can be a positive force. Tourism should empower local communities, allowing hosts to capitalise on, and protect, their natural and cultural resources.





GAIA 20:30 is our strategy to work for a healthy, equitable and sustainable world for this and **future** generations.

# JARPA



日本での観光事業者・海水浴場（マリーナ）の  
国際認証機関として精進してまいります。



# THANK YOU!

代表理事 高山 傑

